

令和元年度 (県) 学習意欲向上モデル校事業

研究主題

みんながもれなく「学び合う」授業づくり
～協同学習による学習意欲の向上～

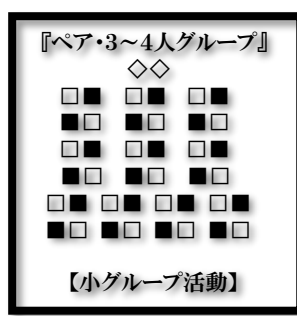
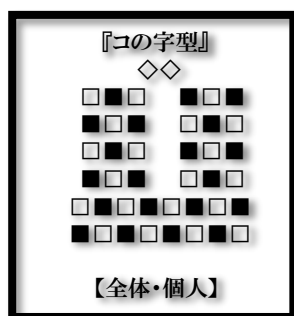
1 研究の具体

授業を「生徒が学びを実感できる授業、生徒の学ぶ意欲を喚起・持続・向上させる授業」に改善していくために、生徒が考える、生徒の疑問や課題を追求し、表現する授業、さらには個人的な学びから共同的な学びへと転換させるべく、授業改善に取り組んでいる。

(1) 学習意欲を喚起する授業デザインの工夫

① コの字型とペア・グループ学習による「学び合う関係性」を重視した授業

- ・教え込みの一斉授業から、対話型の授業に変え、聴き合う関係をつくるため、コの字型の机の配置にする。
- ・すべての生徒に自分の意見や考えを言う機会を設けるために、1時間の授業の中で必ず「小グループ活動」を入れる。
- ・「小グループ活動」ではホワイトボードやコミュニケーションシートを積極的に活用する。
- ・コの字型の座席配置が生きる授業の展開を工夫し、生徒の学習意欲の向上につなげる。



② 二段階方式の学習課題「共有の課題」(習得)と「ジャンプの課題」(活用)

- ・「共有の課題」(習得)・・・授業の時間内にすべての生徒に学ばせたい、基礎・基本的な課題
- ・「ジャンプの課題」(活用)・・・すべての生徒が悩み、深く思考する必要がある課題
- ・生徒の興味関心をひく課題を設定するとともに、課題の質やレベルを上げていき、良質な課題の設定により、生徒の深い学びにつなげていく。
- ・生徒に身につけさせたい力を明確にした「ジャンプの課題」を設定するとともに、授業のどの段階で「ジャンプの課題」を設定するか等、本校ならではの協同学習を模索する。

(2) 生徒による授業評価を活用した授業改善の継続と推進

- ・「生徒による授業評価アンケート」を7月と12月に実施し、授業を受ける側の視点から改善すべき点を模索し、より生徒のやる気を引き出す授業改善に生かす。

2 研究の検証及び改善の手立て

- ① 公開授業研究会を実施して教員の指導力向上を図ると共に、年間4回、外部講師を招いて授業参観後に生徒の変容及び教師の取組について指導・助言を受け、授業改善に生かす。
- ② 「協同学習」に関する生徒・保護者・教員のアンケートを実施し、授業改善課題への取り組状況を分析する。

